初代キズナーズ

人権啓発センター

ヒューレおおいた

2023

おかげさまで
10周年

2代目キズナーズ

1 設置目的

人権啓発センター（ヒューレおおいた）は、基本的人権尊重の精神に基づき、同和問題（部落差別）をはじめとするあらゆる人権問題の解決に向けて人権教育・啓発の推進及び人権に関する情報の収集・提供や市民の交流を図るとともに、相談・支援業務を行うことにより、市民一人ひとりが互いに人権を尊重し合い共に生きる喜びを実感できる地域社会の実現に寄与することを目的とする。

2 設置の経緯

- **各種団体から「人権教育・啓発センター」設置の要望が出される。**
- **2006年（平成18年）10月30日**

  大分市都市計画マスタープランにおいて、「駅南・情報文化新都心」の形成が位置づけられる中、大分市複合文化交流施設基本構想策定委員会（外部委員会）が設置され、複合文化交流施設についての検討が始まる。
- **2008年（平成20年）6月**

  (仮称)大分市総合社会福祉センター設置懇話会から、同センター内に大分市が追加提案した「人権啓発センター」の設置について、その必要があるとの報告書が提出される。
  また、本報告書において、新たな総合社会福祉センターの設置場所は、市が建設を計画している駅南の複合文化交流施設内とされる。
- **2008年（平成20年）8月**

  上記報告書を受け、大分市複合文化交流施設事業における公共機能（案）を修正し、以降、「おおいた都心まちづくり計画」策定庁内検討委員会において、「人権啓発センター」の設置について協議が始まる。
- **2009年（平成21年）12月**

  「大分市複合文化交流施設整備事業推進チーム」が発足し、施設・設備面や運営方法についての具体的な協議が始まる。
- **2011年（平成23年）12月**

  平成23年第4回定例市議会で、「人権啓発センター」を含む「ホルトホール大分条例」が制定される。
- **2013年（平成25年）4月1日**

  「人権啓発センター開設準備室」が設置される。
- **2013年（平成25年）7月20日**

  ホルトホール大分１階に、「人権啓発センター」が開設される。

おおいた市 人権イメージキャラクター「キズナーズ」

3 設置の概要

① 施設名称	人権啓発センター（愛称：ヒューレ おおいた）
② 所在地	大分市金池南一丁目5番１号　J:COM ホルトホール大分１階
③ 施設内容	展示コーナー、図書・ＤＶＤ等閲覧コーナー、相談室、福祉総合ミーティングルーム
④ 延べ床面積	283.16㎡
⑤ 開館時間	午前9時～午後6時
⑥ 休館日	毎月第2・4月曜日（ただし、その日が休日に当たる場合は、その後の休日以外の日） 年末年始（12月28日～1月３日）

4 組織機構図

福祉保健部
- 人権・同和対策課
  - 旭町文化センター
  - 人権啓発センター（ヒューレおおいた）

愛称「ヒューレおおいた」の由来

「人権啓発」の英語表記「human rights enlightenment」の頭文字「hu」,「r」,「e」を合わせた造語「hure（ヒューレ）」から愛称を「ヒューレおおいた」とした。

職員体制　2023年（令和5年）3月31日現在

職員数…8人
- 一般職員……3人
- 再任用職員……2人
- 会計年度任用職員…3人

5 機能及び事業

4つの機能

教育・啓発推進機能

あらゆる差別の解消と市民の人権意識の高揚を図り、人権尊重社会を実現するため、市民に密着した効果的な教育・啓発を推進する。

- 講座、講演会
- 展示事業（常設展示、特別展示）
- 講師紹介

交流・連携機能

人権に関する自主的な活動や学習を支援し、各種団体や関係機関との交流・連携を促進する。

- 学校・団体の受入
- 人権関係団体の支援・交流

情報収集・提供機能

市民の人権意識と感性を高めることをねらいとし、人権に関するタイムリーな情報提供等を行う。

- 人権に関する情報の収集、提供
- 図書・ＤＶＤの貸出
- 広報事業
  （センターだより・パンフレット・啓発資料等の作成）

相談・支援機能

人権に関する問題の解決と日常生活における人権救済に向けた相談体制等の充実を図る。

- 人権問題に関する相談
- 人権擁護委員による相談

6 館内の概要

1 展示コーナー

人権啓発パネルや各種資料を常設展示。およそ１か月ごとにテーマを変えて、特別展示も行う。

❶ 常設展示

同和問題（部落差別）をはじめ、女性、子ども、高齢者、障がい者などのあらゆる人権問題及び大分市の取組についての人権啓発パネルを展示。

常設展示「人権啓発パネル」

❷ 特別展示

およそ1か月ごとにテーマを変えて、パネル等を展示する。

「人権の詩（こころのうた）」パネル展
（11月2日～11月30日）

「東日本大震災」写真パネル展
（3月1日～3月30日）

2 図書・ＤＶＤ等閲覧・視聴・情報検索コーナー

人権に関する図書・ＤＶＤなどの閲覧や貸出しを行う。
貸出しは、図書3冊、ＤＶＤ2枚まで。
貸出期間は15日以内。（貸出券の登録申請が必要。）

所蔵数

図書……748冊
ＤＶＤ……104枚
人権に関するＤＶＤの視聴、
パソコンによる情報検索ができる。
ＤＶＤモニター……2台
パソコン……1台

図書・ＤＶＤ等閲覧コーナー

3 相談室

人権に関する相談に対応。毎月第1水曜日（午前10時から午後3時）は、人権擁護委員による相談も行う。なお、開館日の午前9時から午後5時までは職員による相談も行う。

相談室

4 福祉総合ミーティングルーム

人権啓発に関する講座や研修会等で利用できる。

使用例

- ▶ヒューレおおいた主催の研修会
- ▶小・中学校児童生徒の人権・同和教育
- ▶地区人権教育（尊重）推進協議会
- ▶大分市人権・同和教育推進連絡協議会各部会
- ▶教職員の人権・同和教育研修会

福祉総合ミーティングルーム

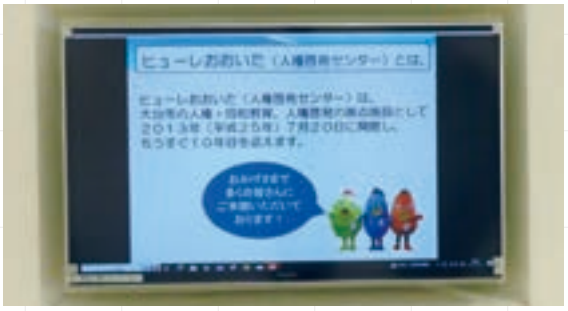
長机・・・・・・・・・・・18脚	椅子・・・・・・・・・・55脚	演台・・・・・・・・・・・・・1台
プロジェクター・・1台	スクリーン・・・・・・1台	ホワイトボード・・1台

5 啓発モニター

65インチのモニターを北側廊下壁面に設置し啓発ＤＶＤ等を上映。

内容例

- ▶ヒューレおおいた紹介
- ▶沖縄返還50年
- ▶おおいた人権フェスティバル記録ＤＶＤ
- ▶旭町文化センター「旭ふれあい祭～アーチ～」



啓発モニター（65インチ）

6 人権啓発大型ポスター掲示板等

4mポスター掲示板、2mポスター掲示板（2箇所）及び啓発資料の展示

人権尊重社会の実現に向け、市民の人権意識の普及・高揚を図るため、同和問題（部落差別）をはじめとするあらゆる人権問題をテーマにした大分市作成のポスターを掲示。

4mポスター

7 事業の概要〈2022年度（令和4年度）の実績〉

1 教育・啓発推進機能

❶ 講座、講演会

リーダー養成講座「にんげんセミナー」

地域や企業、行政等において、人権啓発のリーダーを養成する講座を年10回開催する。

講　　師　多田（ただ）　公一（ひろかず）氏、秦（しん）　政博（まさひろ）氏、大湾（おおわん）　昇（のぼる）氏、奥（おく）　結香（ゆいか）氏、高橋（たかはし）　秀徳（ひでのり）氏、川邉（かわべ）　純一郎（じゅんいちろう）氏

受 講 者 数　34人（連続受講）

回	実施日	内　容・講　師	
第１回	8月 4日(木)	「生き方を考える」ワークショップ	多田　公一 氏
第２回	8月18日(木)	「差別解消をめざした教育とは」	高橋　秀徳 氏
第３回	9月 1日(木)	「出会いと表現～あることをないことにしない～」	大湾　昇 氏
第４回	9月15日(木)	「差別から見た日本の歴史１」	秦　政博 氏
第５回	9月29日(木)	「差別から見た日本の歴史２」	秦　政博 氏
第６回	10月 6日(木)	「多様な性について知ろう ～ひとりぼっちのいない地域を～」	奥　結香 氏
第７回	10月20日(木)	「『薫習』を見直し、一人ひとりが豊かに生きる」	多田　公一 氏
第８回	11月 2日(水)	「差別を温存・助長する考え方に向き合う」	川邉　純一郎 氏
第９回	11月17日(木)	「差別から見た日本の歴史３」	秦　政博 氏
第10回	12月 1日(木)	「歩んできた道　これからの生き方」	多田　公一 氏

これまで受講された企業・団体（敬称略　掲載は順不同）

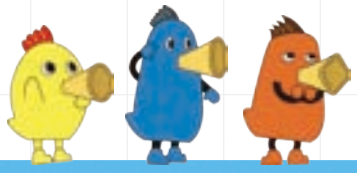
日本郵便株式会社大分中央郵便局
大分県農業協同組合中西部事業部
九州旅客鉄道株式会社大分支社
西日本電信電話株式会社大分支店
大分バス株式会社
大分交通株式会社
株式会社トキハ
日本製鉄株式会社大分製鉄所
九州電力株式会社大分支社
大分合同新聞社
大分キヤノン株式会社
JXTGエネルギー㈱大分製油所
株式会社大分銀行
日本生命保険相互会社
㈱三井E＆Sマシナリー大分工場
TOTOアクアテクノ株式会社大分工場
大分信用金庫
大分県信用組合
日本通運株式会社大分支店
太陽生命保険株式会社大分支社
株式会社オーイーシー
九州労働金庫大分県本部
大分市タクシー協会
株式会社別大興産
㈱JR大分シティ
大分市管工事協同組合
株式会社豊和銀行
明治安田生命保険㈱大分支社
株式会社太田旗店
大分市職員労働組合
ヴェオリア・ジェネッツ株式会社
マイタウンサービス㈱
大分県住宅供給公社
コンパルホール共同事業体
ホルトホール大分みらい共同事業体
アートプラザ共同事業体
平和市民公園共同事業体
大分市情報学習センター
関崎海星館
社会福祉法人大分市福祉会
春日町小学校PTA
大道小学校PTA
西の台小学校PTA
南大分小学校PTA
城南小学校PTA
豊府小学校PTA
稙田小学校PTA
宗方小学校PTA
金池小学校ひしのみの会
上野ヶ丘中学校PTA
王子中学校PTA
大分西中学校PTA
南大分中学校PTA
城南中学校PTA
明野中学校PTA
稙田中学校PTA
稙田西中学校PTA
碩田学園PTA
南大分地区人権教育推進協議会
大在地区人権教育推進協議会
大南地区人権尊重推進協議会
野津原地区人権教育推進協議会
坂ノ市地区人権教育推進協議会
佐賀関地区人権教育推進協議会
西部地区人権教育推進協議会
城東原川地区人権教育推進協議会
南部地区人権教育推進協議会
鶴崎地区人権教育推進協議会
明野地区人権尊重推進協議会
大分中央地区人権尊重推進協議会
稙田地区人権尊重推進協議会
大分人権擁護委員協議会
大分市地域婦人団体連合会

「にんげん劇2022」

市内の中学生・高校生等を対象に、演劇を通じて人権の大切さについて考えてもらう講演会を実施する。

❷ 常設展示

同和問題（部落差別）をはじめとするあらゆる人権問題及び大分市の取組等をパネル化し、センター内の壁面に常設展示する。



❸ 特別展示

同和問題（部落差別）をはじめとするあらゆる人権問題について学習する契機の提供を目的とし、年間計画の中でテーマを設定し、パネル等の展示を実施する。

事業名（期間）	概　　要
Light It Up Blue@「100 年の樹」2022 発達障がいのある人たちのアート作品展 （4月1日～4月26日）	Light It Up Blue（ライト・イット・アップ・ブルー）は、全世界の人々に自閉症・発達障がいについて理解してもらう取組であり、世界自閉症啓発デーや発達障害啓発週間に合わせ、自閉症児・者のパネルやアート作品を展示。
「江口いと人権の詩」パネル展 （4月27日～5月31日）	さまざまな人々と出会い、不条理な差別と闘いながら、乏しくともわけあう「博愛の心」や「まことの心」を胸に生きた江口いとさん。人間として、母としての強さと愛情の深さを詩を通して感じていただくパネル展。
「あっ そうか！人権」パネル展 （6月1日～6月30日）	身のまわりのふとした出来事の中で、「あっ、これも人権だったのか」と気づくきっかけとなる場面をイラストで分かりやすく表現したパネル展。
安田菜津紀　写真展 「君とまた、あの場所へ－シリア難民の子どもたち－」（7月1日～7月29日）	フォトジャーナリスト安田菜津紀さんが、シリア国内や近隣諸国を取材し、戦闘災害に見舞われた地域の子供たちの生と死に向き合いシャッターを切った写真展。
「原爆と人間展」 （7月30日～8月31日）	日本原水爆被害者団体協議会が企画・編集した原爆の写真、絵画等のパネル展示。
「暗やみに光を灯した人」 杉原千畝展 （9月1日～9月30日）	ナチスドイツからの迫害を受け、逃れてきた難民救済のため、「命のビザ」を発行、約6000人のユダヤ人を救い出した、杉原千畝の功績を紹介したパネル展。
「人権啓発ポスター」展 （10月１日～11月1日）	同和問題（部落差別）や女性、子ども、高齢者、障がい者などに対する差別や偏見の問題、インターネットによる人権侵害などのさまざまな人権の課題に気づき、学ぶことができる啓発パネルを展示。

事業名（期間）	概　　要
「人権の詩（こころのうた）」パネル展 （11月2日～11月30日）	普段の何気ない生活の中で見過ごしがちな様々な出来事を人権という視点で見つめ直して表現した詩をパネルにした展示。
大分市人権フォトコンテスト入選作品展 （2016.2018.2022） （12月1日～12月27日）	2007年から毎年実施している大分市人権フォトコンテスト。2016年は「人権フォト＆メッセージ～命をつむぐ母そして父～」、2018年は「希望～光さす未来へ～」、2022年は「つなぐ～これまでも　これからも～」をテーマに作品を募集し、入選作品を展示。
「考えようみんなの人権」パネル展 （1月5日～1月31日）	人権問題をひとごとではない、身近な問題として考えるきっかけとなるよう、さまざまな人権に関するパネルを展示。
安田菜津紀　写真展 「照らす　生きた証を遺すこと」 （2月1日～2月28日）	フォトジャーナリスト安田菜津紀さんが、東北をはじめ、日本国内の取材で、出会った方々の身近な人が遺したものを写真で照らし、改めて、生きた証を刻んだ写真展。
「東日本大震災」写真パネル展 （3月1日～3月30日）	2011年3月11日午後2時46分に発生した東日本大震災から12年。震災当時の様子を記録した写真を展示。

❹ 講師紹介

地域をはじめ企業や行政、学校等が積極的に人権・同和問題に関する研修会等に取り組むことができるように講師の紹介を行う。

❺ 夏休み映画上映会

小・中学校の夏季休業期間にアニメ映画「はだしのゲン」を上映する。

❻ 夏休み朗読劇

小・中学校の夏季休業期間におおいた演劇の会による「蝉なきやまず～大分の空襲より～」の朗読劇の開催。

❼ 夏休み人権体験学習、人権教室

小・中学校等の夏季休業期間に人権に関する体験学習事業を行う。

（教職員等の研修も含む）

※学習内容は、高齢者・妊婦擬似体験、車いす体験など

2 交流・連携機能

❶ 学校・団体の受入

学校等の人権・同和教育や各種団体の人権・同和問題（部落差別）研修を支援するため、小・中学校児童生徒を対象とした体験学習や講話、大分市作成のDVD等を活用した研修を実施する。

小・中学校等の受入

学習項目	内　　容
講話	人権・同和問題（部落差別）についての講話「心のバリアフリー」、「わたしも大切 あなたも大切」など
ＤＶＤ視聴	人権・同和問題（部落差別）についてのＤＶＤ上映「人権ノススメ」など
パネル学習	人権・同和問題（部落差別）についての常設展示、特別展示のパネル見学
高齢者・妊婦擬似体験	高齢者・妊婦擬似体験グッズを装着した擬似体験活動
アイマスク体験	アイマスク、白杖を使用した擬似体験活動
バリアフリー設備見学	J:COM ホルトホール大分のバリアフリー設備、ユニバーサルデザイン設備の見学

	受入児童生徒数
市内小学校	2,725人
市外小学校（由布市）	10人
市内中学校	4,276人
合計	7,011人

団体の受入

受入団体	人数
19団体	235人

人権講話

高齢者擬似体験

❷ 人権関係団体の支援・交流

団体相互の連携や交流を図ることを目的に、各人権関係団体の活動資料などを掲示する場の提供を行うとともに、団体を対象とした研修会を実施する。

地区人権協広報紙の展示

3 情報収集・提供機能

❶ 人権に関する情報の収集、提供

国内外の様々な人権に関する情報や資料を収集し、センター内への掲示等により情報発信する。

❷ 図書・DVDの貸出

センターが所蔵する人権に関する図書やＤＶＤを市民・団体・企業等に貸し出す。

❸ 広報事業

人権に関する情報やセンター事業の紹介等を掲載した定期広報紙を発行する。また、センターのパンフレットや各種の啓発資料等を作成する。

・広報紙「ヒューレ bond(ボンド)」発行　　市内全戸配布（年１回）
・小・中学校用広報紙「ヒューレ通信」発行　市内小・中学校全学級配布（年１回）

「ヒューレbond」

「ヒューレ通信」

4 相談・支援機能

人権相談

人権に関する総合的な相談窓口として、面談等による人権相談に応じる。
また、人権擁護委員による相談を毎月第１水曜日に実施する。

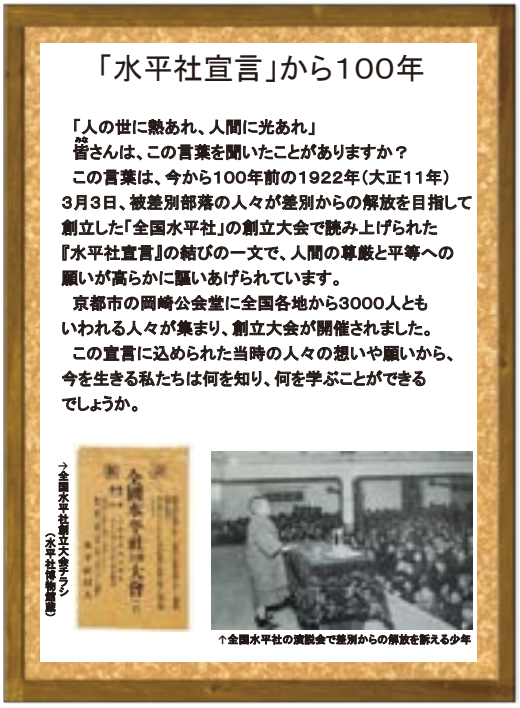
相談者数	22人(21件)

8 年間利用者数

年度	利用者数
2022年度（令和4年度）	21,318人
2021年度（令和3年度）	19,664人※
2020年度（令和2年度）	16,154人※
2019年度（令和元年度）	47,040人※
2018年度（平成30年度）	48,652人
2017年度（平成29年度）	49,471人
2016年度（平成28年度）	46,518人
2015年度（平成27年度）	50,933人
2014年度（平成26年度）	54,648人
2013年度（平成25年度）	40,769人※

※2020年（令和2年）3月21日～5月17日までは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館。

※2013年度（平成25年度）は7月20日（開館）～3月31日

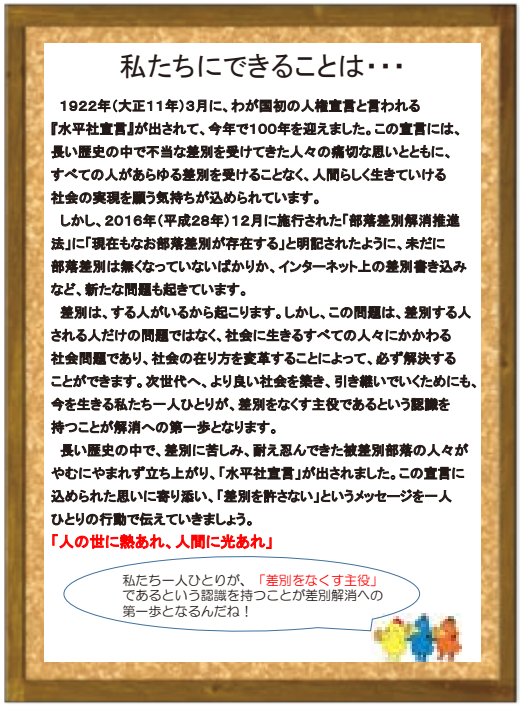


「水平社宣言」から100年

「人の世に熱あれ、人間に光あれ」
皆さんは、この言葉を聞いたことがありますか？
この言葉は、今から100年前の1922年（大正11年）3月3日、被差別部落の人々が差別からの解放を目指して創立した「全国水平社」の創立大会で読み上げられた『水平社宣言』の結びの一文で、人間の尊厳と平等への願いが高らかに謳いあげられています。
京都市の岡崎公会堂に全国各地から3000人ともいわれる人々が集まり、創立大会が開催されました。
この宣言に込められた当時の人々の想いや願いから、今を生きる私たちは何を知り、何を学ぶことができるでしょうか。

↑全国水平社創立大会ナラシ（水平社博物館蔵）

↑全国水平社の演説会で差別からの解放を訴える少年



私たちにできることは・・・

1922年（大正11年）3月に、わが国初の人権宣言と言われる『水平社宣言』が出されて、今年で100年を迎えました。この宣言には、長い歴史の中で不当な差別を受けてきた人々の痛切な思いとともに、すべての人があらゆる差別を受けることなく、人間らしく生きていける社会の実現を願う気持ちが込められています。
しかし、2016年（平成28年）12月に施行された「部落差別解消推進法」に「現在もなお部落差別が存在する」と明記されたように、未だに部落差別は無くなっていないばかりか、インターネット上の差別書き込みなど、新たな問題も起きています。
差別は、する人がいるから起こります。しかし、この問題は、差別する人される人だけの問題ではなく、社会に生きるすべての人々にかかわる社会問題であり、社会の在り方を変革することによって、必ず解決することができます。次世代へ、より良い社会を築き、引き継いでいくためにも、今を生きる私たち一人ひとりが、差別をなくす主役であるという認識を持つことが解消への第一歩となります。
長い歴史の中で、差別に苦しみ、耐え忍んできた被差別部落の人々がやむにやまれず立ち上がり、「水平社宣言」が出されました。この宣言に込められた思いに寄り添い、「差別を許さない」というメッセージを一人ひとりの行動で伝えていきましょう。
「人の世に熱あれ、人間に光あれ」

私たち一人ひとりが、「差別をなくす主役」であるという認識を持つことが差別解消への第一歩となるんだね！

ヒューレおおいた2022年度展示の「水平社宣言100年」

2022年（令和4年）、水平社宣言から100年が経過しましたが、未だに部落差別はなくなっていないばかりか、インターネット上の差別書き込みなど新たな問題も起きています。

部落差別の解消を阻む考え方として「そっとしておけば、自然と差別はなくなっていく」という、いわゆる「寝た子を起こすな」という考え方があります。この考え方では、差別をなくす取組を否定するだけでなく、現在、差別を受けている人は、差別がなくなるまで耐え続けなければならないこととなります。誰もが膨大な情報にアクセスできる現在、寝た子はネットで起こされており、部落差別についてよく知らない人が、誤った知識や偏見を持つ人の話、インターネット上の差別的な書き込みなどを読み、それを信じると、さらなる偏見や差別につながってしまいます。

私たち一人ひとりが差別の現実に向き合い、部落差別について正しく学ぶことで「知らないから差別をしない」のではなく、「知っていても差別をしない」社会を築いていくことが大切です。

おおいた市 人権イメージキャラクター

「キズナーズ」

「キズナーズ」は、鳥をモチーフに、くちばしをラッパの形状に変え擬人化。それぞれの名前は「キ・ズ・ナ（絆）」を頭文字に「キッピィ・ズータン・ナビー」と名づけました。3体のキャラクターは、人権尊重や人権意識の普及・高揚を図ることの大切さを表現しています。

人権啓発センター ヒューレおおいた

〒870-0839
大分市金池南一丁目5番1号 J:COM ホルトホール大分1階
電話 097-576-7593　FAX 097-544-5708

■開館時間／午前9時～午後6時
■休館日　／毎月第2・第4月曜日
（ただし、その日が休日に当たる場合は、その後の休日以外の日）
年末年始（12月28日～1月3日）